

教科名	情報	科目名	情報 I	年次	2年次	単位数	2
教科書	改訂版 高等学校情報 I		副教材	改訂版 高等学校情報 I サポートノート ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー			

1 科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育てる。

2 学習について

① 予習・復習の方法

予習：事前に次回の授業内容（教科書2頁程度）を読み、太字の語句を中心に意味を確認しておく。

復習：授業で習った箇所の教科書を読み返し、学習ノートに取り組む。

② 授業における学習方法

◎授業では、授業内容が「わかる」ことを心がける。

ア教科書をしっかり読み、先生の質問に答えられるよう説明を集中して聞く。

イ実習の際には、操作等の分からないところや、理解できない点について積極的に質問する。

③ 家庭学習のポイント等

◎家庭学習では、「わかる」から「できる」にまで理解を深めることを心がける。

学習ノートに取り組むことで、理解できていない点を明確にし、質問するなどして。

3 学習計画

考査		単元名（学習項目）	学習内容（ねらい）
前期	前期 中間	・情報社会の問題解決	・情報と情報技術を活用した問題を発見、解決する方法を身に付ける。
	前期 期末	・コミュニケーションと情報デザイン	・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの方法を身に付ける。
後期	後期 中間	・コンピュータとプログラミング	・プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法を理解する。
	学年 末	・情報通信ネットワークとデータの活用	・データの収集、整理、分析及び結果の表現を、適切に実行する方法を身に付ける。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めることができる。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことができる。

5 評価方法

計 70 時間（ 50 分授業）

上記の観点を踏まえ、定期考査・課題考査・授業内の実習課題、宿題などの提出された課題、学習態度等を以下の割合で総合的に評価する。

知識・技能…40% 思考・判断・表現…30% 主体的に学習に取り組む態度…30%